

令和7年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会水球競技 【結果速報】

No.4

試合 M02 1回戦

【2025/8/17】

青森連
合

5

1	-	4
1	-	8
2	-	11
1	-	8
PSO		

31

金沢市
立工業

審判1 深谷周平

審判2 城之下智喜

No.	Name	被シュート数	失点	セーブ率
GK1	佐々木 建琉	33	23	15%
GK13	佐藤 玄堯	10	8	11%

No.	Name	被シュート数	失点	セーブ率
GK1	三谷 英輝	14	2	71%
GK13	田村 琉真	10	3	50%

No.	Name	シュート数	得点	PF数
GK1	佐々木 建琉			
2	長内 盛起	1		1
3	木戸 咲翔			
4	豊嶋 優斗	8	2	2
5	中林 春空	3	1	2
6	船橋 颯斗	2		
7	豊嶋 旬	2		1
8	肥後 充友仁	4		2
9	中林 千空			
10	船橋 悠心	4	2	1
11	大沢 鉄将			
12	矢野 淳之助			
GK13	佐藤 玄堯			

No.	Name	シュート数	得点	PF数
GK1	三谷 英輝			
2	松野 綾祐	8	5	1
3	北谷 翔太			
4	角尾 琉斗	3	3	1
5	中村 橙滋	3	2	1
6	水浦 楽久	2	2	
7	前田 洸成	3	3	
8	前田 侑大	9	8	
9	徳田 慎之介	4	2	
10	亀口 希空	3	1	
11	小西 由笑	5	4	1
12	前田 蒼空	3	1	
GK13	田村 琉真			

R7 インハイ水球 Web サイト

<https://j-waterpolo.net/25Yamaguchi/index.html>



水泳・水球

令和7年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会 第93回日本高等学校選手権水泳競技大会（水球）

No.3

水球競技戦評

期日：令和7年8月17日（日）
会場：山口きらら博記念公園水泳プール

ゲームNo.

2

帽子の色 白

帽子の色 青

青森連合

5

1	-	4
1	-	8
2	-	11
1	-	8
PSO		

金沢市立工業

3 1

審判1： 深谷 周平

審判2： 城之下 智喜

戦 評

令和7年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会兼第93回日本高等学校選手権水泳競技大会（水球）、青森連合対金沢市立工業の一戦は、序盤こそ拮抗した展開を見せたものの、第2ピリオド以降は金沢市立工業が圧倒的な攻撃力を発揮し、試合を完全に支配する展開となった。

第1ピリオドは青森連合がセンターボールを取り試合開始。先制は金沢市立工業、4:54に⑩亀口がカウンターからパスを受け確実な得点を奪うと、4:17にも⑥水浦が続けてゴール。幸先の良い立ち上がりを見せる。対する青森連合も反撃を見せ、2:16には⑤中林がカウンターから得点し、2:00には③木戸が退水を誘発してチャンスを得る。しかしここはゴールに結びつかず、1:05には④角尾が回し込みから相手をかわして得点。残り27秒には⑥水浦が冷静にシュートを沈めた。金沢市立工業が優位に試合を進めたものの、青森連合も集中した攻撃を見せ、スコアは4-1で第1ピリオドを終えた。

第2ピリオドでは金沢市立工業の攻撃が一気に爆発する。開始早々7:10に②松野がパーソナルファウルを誘発し得点、6:01には⑨前田が退水を誘発し、④角尾が追加点。さらに4:49には②松野がカウンターから得点。青森連合も4:34に④豊嶋がセンターポジションから意地の1点を決めるが、その後は金沢市立工業が怒濤の連続得点。3:17には②松野が、2:46には⑪小西がカウンターから得点を重ね、1:45には⑨前田が退水を誘発し⑤中村が追加。48秒には②松野がフリースローを沈め、11秒には④角尾がカウンターからゴールを奪った。このピリオドだけで金沢市立工業は8得点を挙げ、スコアは12-2と大差をつけた。

第3ピリオドも金沢市立工業の勢いは止まらない。7:32⑨前田、7:07⑤中村、5:56②松野、5:13⑪小西と次々にネットを揺らし、序盤から4連続得点。青森連合も4:58に⑩船橋がゴール、4:17には④豊嶋が得点して意地を見せるが、その直後から再び金沢市立工業の猛攻が続く。3:58に⑨前田、3:25にはペナルティを獲得し⑦前田洗が決め、2:50には再び⑨前田。さらに1:38と1:05に連続して⑨前田がゴールを重ね、残り41秒には⑦前田洗がカウンター、終了1秒前には⑨前田がこのピリオド6点目となる得点を挙げた。終わってみればこのピリオドだけで金沢市立工業は11得点。青森連合も粘りを見せたが、スコアは23-4と差が広がった。

第4ピリオド、すでに勝敗の行方は見えていたが、金沢市立工業は最後まで攻撃の手を緩めなかった。7:32に⑪小西、6:23に⑨徳田、5:46には⑦前田、さらに5:05には⑦前田洗が立て続けにカウンターから得点。4:49には⑦前田が退水を誘発し、⑪小西がゴールを決める。青森連合も4:10に⑩船橋がこの試合2点目を挙げ、最後まで気迫を見せたが、その後も金沢市立工業は加点を続け、1:38に⑨前田、1:00に⑨徳田、そして終了25秒には再び⑨前田がこの試合8得点目を記録。圧巻の攻撃を見せつけた。

試合は最終スコア31-5で金沢市立工業が大勝。第2ピリオド以降は厳しいプレスディフェンスからの素早いカウンター攻撃を徹底し、攻撃陣が次々にゴールを量産。特に⑨前田は8得点と圧巻の決定力を見せ、②松野、⑪小西らも安定して得点を重ねた。チーム全体でバランス良く加点し、攻守の両面で相手を圧倒する戦いぶりであった。

一方の青森連合は苦しい試合展開の中でも最後まで諦めず、⑤中林や④豊嶋、⑩船橋らが得点を挙げるなど、懸命な姿勢を見せた。勝敗こそ大差がついたが、高校生らしい粘り強いプレーを貫き、今後に繋がる戦いとなった。

金沢市立工業が圧倒的な力を見せつける一方で、青森連合の最後まで戦い抜く姿勢も印象的な一戦であった。両チームの今後の健闘を期待したい。

記 録 者

伊藤・加藤・菅原